

# Let's enjoy アウトドア

## 冬キャンプ10の注意点 10の注意点のうち⑥～⑩をご紹介します



今回は冬キャンプの注意点①～⑤を紹介させていただきました。

今回は⑥～⑩をご紹介します! 冬キャンプをより安全に楽しめるよう早い段階から備えておきましょう。

### 注意点⑥

#### テントまわりの 凍結対策



テントが雪まみれになり朝を迎えると、テント周りが凍結します。ポールのつなぎ目が凍ってショックコードが切れてしまったり、ファスナーが凍って開けられないという危険も! 雪離れと凍結対策には、防水スプレーが有効です。雪に埋もれてからでは遅いので、日頃から定期的にスプレーしておくといいでしょう。

### 注意点⑦

#### 雪上の設営



雪の上での設営は、いつも以上に安定感を考慮する必要があります。サイト内で過ごしていると熱でテント下の雪が溶けていき、ペグやロープがゆるんでテントやタープがたわんでしまうことも。安定させるコツは、設営場所の雪をしっかり踏み固めること。就寝エリアは少し高めに雪を集めるなど、長時間滞在を見越して設営しましょう。

### 注意点⑧

#### 結露対策



内外の温度差が激しい冬は、他のシーズン以上にテント内が結露がち。通気性を上げるために、寝る時も少しかだけベンチレーションを開けておくのがおすすめです。開けると寒さが心配ですが、結露でシュラフが濡れて保温機能が落ちたり、テント内がビショビショになって風邪を引くことを考えると「ちよい開け」のほうが得策かもしれません。

### 注意点⑨

#### 冷気対策



地面からの冷気は、おそろしく冷たく過酷です。お座敷スタイル派の方は特に、テント下のマット・シート対策をしっかりとしておくことをおすすめします。グラウンドシートに厚手の銀マットを敷き、テント内もカーペットなどでなるべく暖かい床を作りましょう。

### 注意点⑩

#### 寝る時の装備



冬キャンプで最も入念に準備しておきたいのが寝る時の装備。湯たんぽがあると◎。直火OKのものなら、ストーブの熱で暖められて効率的です。冬キャンプのシュラフはすっぽりと包まれるマミー型がおすすめです。3シーズン用を活用したいなら、冷気を遮断するためにコットの上に寝袋を敷いたり、服装・カイロなどで工夫をしましょう。

POINT!!



体感的な寒さだけでなく、時季や場所によっては凍結による

様々なトラブルが起こりやすい冬キャンプ。火気や車、設営にまつわる冬ならではの注意点を覚えておきましょう!